



Speed to Save

地域連携情報誌

vol.32
2021年9月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます





院長補佐（兼）
脳神経内科 主任科部長

いしはらひろゆき
石原 広之

70万人の人口規模を持つ東播磨圏域において、全人口としては今後減少傾向に転じていきますが、65歳以降の高齢人口においては今後10年さらに増加していくと推計されています。このような高齢化社会の進行と共に、高血圧症、糖尿病、脂質異常症といった動脈硬化のリスクファクターとなりうる生活習慣病を持つ、もしくは心房細動を合併する患者も増えてきています。このような疾患の増加は、結果的に脳卒中の発症へとつながります。2019年末からのコロナ禍においても、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血いずれも増加傾向にあります(当院の脳卒中以外の脳神経疾患入院患者数は、2020年度は横ばいで推移)。

脳卒中の予防には、基礎疾患の治療が重要であることは言うまでもありませんが、発症した場合はできるかぎり速やかな治療対応が必要です。Time is brain.という言葉があります。米国建国の父の一人であるベンジャミン・フランクリン（100ドル札の肖像、嵐を使って雷が電気であることを証明したことで有名です）の名言Time is money.（時は金なり）をもじった標語ですが、脳卒中は一刻を争う病気あるということをご一般の方々に知ってもらうために米国で使われました。脳梗塞で脳への血流が途絶えると1分間毎に190万の神経細胞が死滅していく、また、100人の超急性期脳梗塞の患者がおられたとすると、5分毎に1人ずつ社会復帰できない方が増えていくと言われていています。1分1秒でも早い脳血流の再開が重要です。

当院では脳神経内科及び脳神経外科が連携し、発症早期の脳梗塞症例に対して、t-PA超急性期血栓溶解療法、カテーテルによる脳血栓回収術を24時間、365日オンコール体制で行っています。市民への啓蒙活動は引き続き行っていく所存ですが、先生方のところへ脳卒中が疑われる患者より御相談がありました際には、直ちに当院救急外来へ御連絡ください。



脳神経内科 × 脳神経外科

24時間365日オンコール体制による迅速な対応

脳梗塞については、超急性期脳梗塞へのrt-PA血栓溶解療法、脳神経外科と連携した血栓回収療法など可能な限り、迅速に対応します。

脳神経内科

医師氏名	卒年	役職	専門分野
石原 広之	H5	院長補佐(兼) 脳神経内科 主任科部長	脳神経内科
清家 尚彦	H19	脳神経内科 医長	脳神経内科
永田 格也	H21	脳神経内科 医長	脳神経内科
北 峻志	H30	脳神経内科 専攻医	脳神経内科
杉澤 良介	H30	脳神経内科 専攻医	脳神経内科

脳神経外科

医師氏名	卒年	役職	専門分野
山元 一樹	H5	脳神経外科 主任科部長	脳神経外科疾患全般 小児脳神経外科
木戸口 慶司	H10	脳神経外科 科部長	脳神経外科疾患全般 脳血管内治療
潤井 誠司郎	S58	理事(兼) 院長補佐(兼) 患者支援センター センター長(兼) 脳神経外科 科部長	脳神経外科疾患全般 脳腫瘍 脳卒中



脳卒中診療

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 脳神経内科

検索

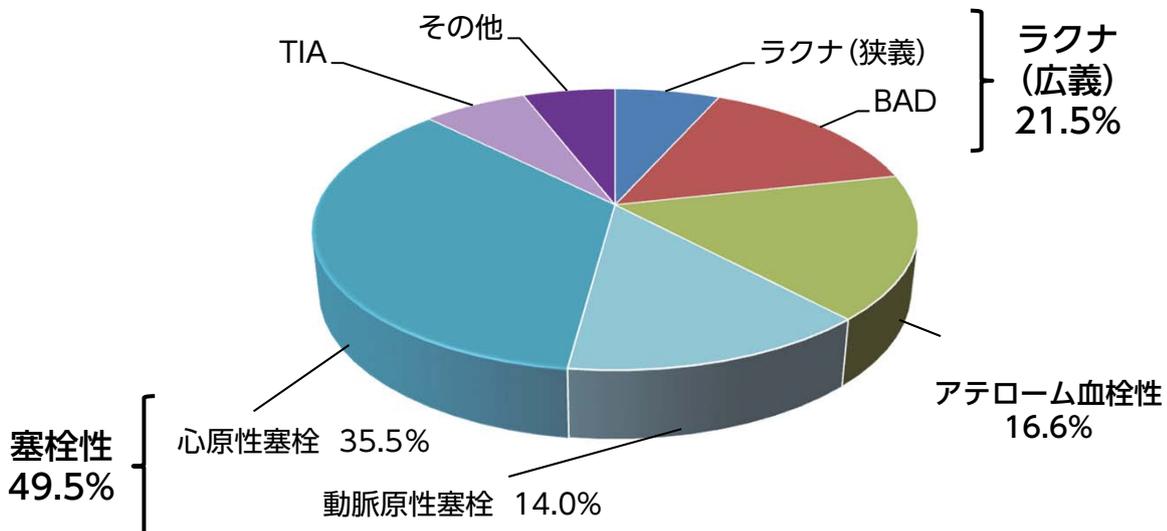
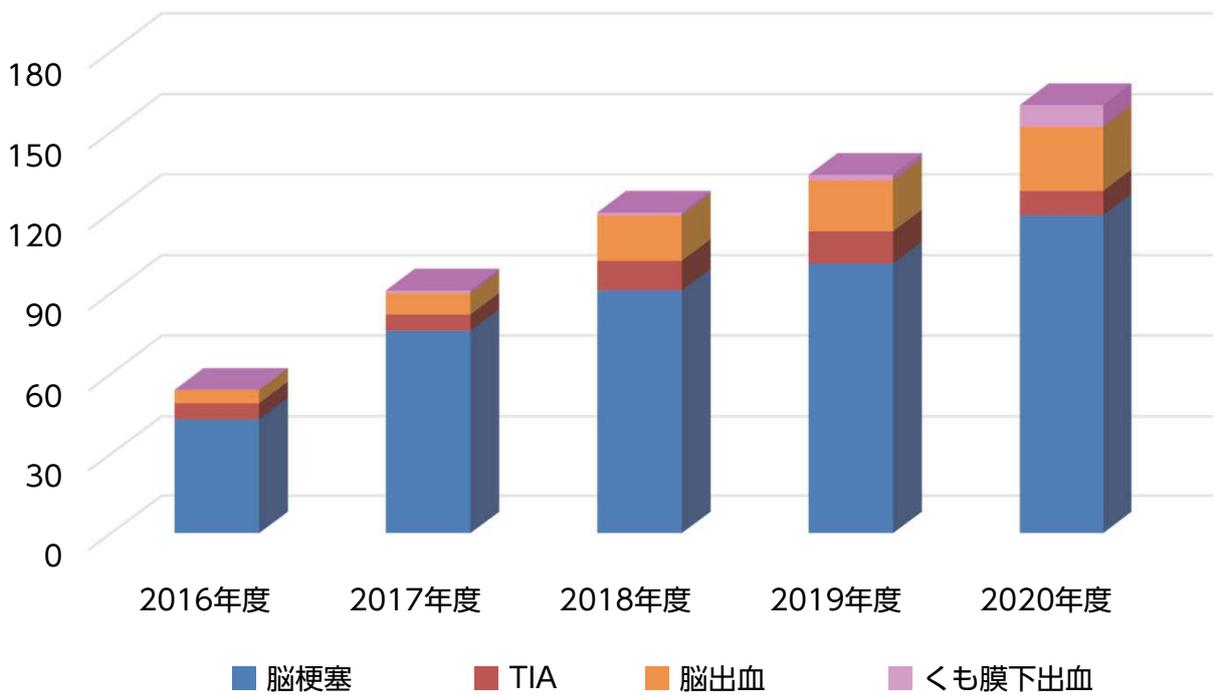


～QUICKER TREATMENT～

脳卒中は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つを合わせた総称です。当院での脳卒中の診療実績は年々増加しており、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大がありましたが、年間160症例の診療にあたることができました。

病型は、一般的にラクナ梗塞、アテローム血栓性、塞栓性がそれぞれ3分の1ずつを占めています。しかし当院では、心房細動を罹患している患者さんが多いということもあり、塞栓性脳梗塞が約半数を占めています。

当院での脳卒中診療 (2016年7月～2021年3月)



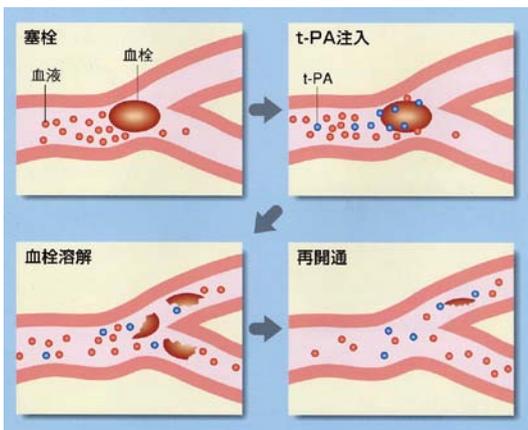
脳梗塞の病型割合
(2020年4月1日～2021年3月31日当院入院症例)

t-PA治療（超急性期血栓溶解療法）

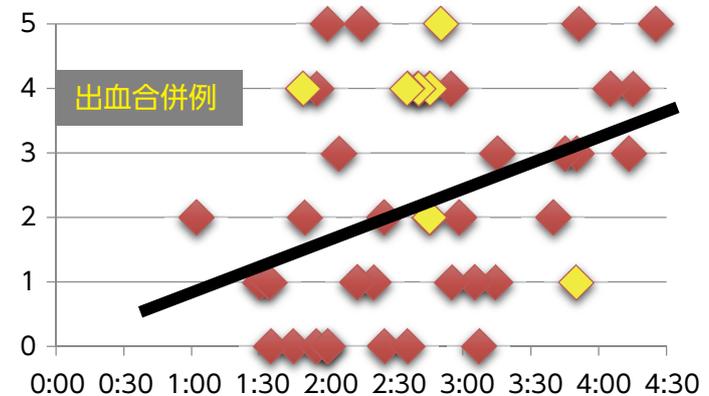
1分1秒でも早いt-PA投与を目指して

t-PA治療とは、脳の血管に詰まった血栓をt-PA（組織プラスミノゲンアクチベーター）で溶かします。発症から時間が経つと、虚血で障害された血管より出血を起こす可能性が高まります。

発症からt-PA投与開始までの時間と退院時ADL（自験例）



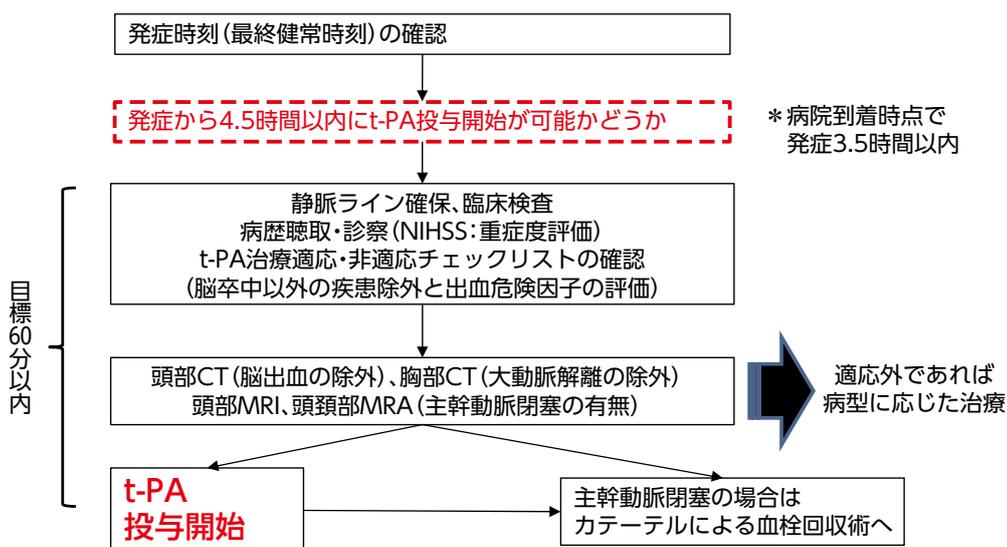
退院時mRS



* 発症からt-PA投与開始までの時間

投与開始が30分遅れるごとに、約10%ずつ社会復帰率が下がります。

超急性期脳梗塞治療のフロー



超急性期脳梗塞治療のフローに沿って来院後、静脈確保、血液検査の実施とともに、t-PA治療適応・非適応チェックリストに基づき、確認します。また画像検査により、大動脈解離の除外、主幹動脈閉塞の有無を確認します。

断わらない脳神経救急：24時間、365日オンコール体制で脳神経内科医5名、脳神経外科医3名のチームで対応しています。脳卒中が疑われれば、当院救急外来へ御連絡ください。

当院は日本脳卒中学会の一次脳卒中センターに認定されており、兵庫県保健医療計画では、東播磨医療圏の脳卒中急性期医療を担う医療機関A'に認定されています。将来的にはStroke Care Unit (SCU) 設置を目指しています。

脳神経外科によるカテーテル治療

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 脳神経外科 検索



脳神経外科との連携

頭部MRI、頭頸部MRA検査にて、主幹動脈の閉塞が確認できた場合は、t-PAの治療効果は期待できないため、脳神経外科の連携のもと、カテーテルによる脳血栓回収術を行います。

また内頸動脈の狭窄が原因となる場合は、待機的手術療法として、ステント留置、バイパス手術、頸動脈内膜剥離術など血管内治療を選択します。

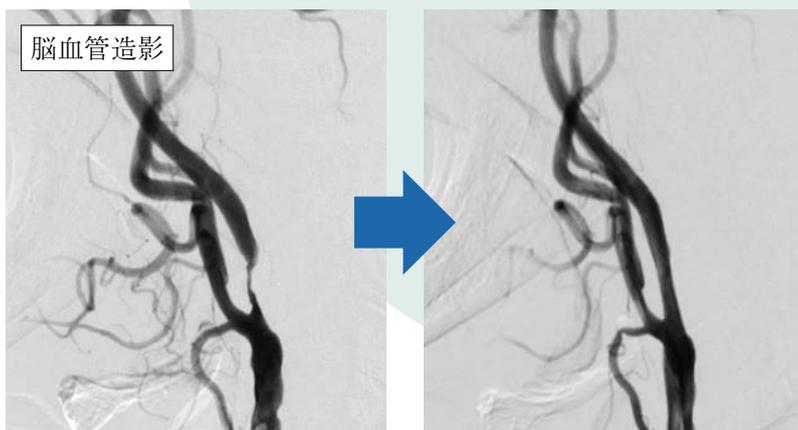


カテーテルによる
血管内治療

脳血栓回収術（超急性期）
内頸動脈～中大脳動脈近位部閉塞対象



頸動脈ステント留置術
内頸動脈狭窄症



Trevoリトリーバー® にて回収した血栓

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

長谷川医院

診療科：一般内科／糖尿病内科／消化器科

院長である長谷川昌美が昭和54年に当地で開業して以来、これまで地域のかかりつけ医として内科全般、特に生活習慣病（糖尿病・高血圧・高コレステロール血症・痛風・肥満症）の専門医として予防、治療に取り組んでまいりました。この度令和3年3月より、診療所を新築移転し、私 長谷川徳子が副院長として2人体制で診察をしています。今までは大阪国際がんセンター、大阪急性期総合医療センターで肝疾患を専門に診療して参りました。新築移転に伴い、消化器内科の充実を図り、最新の超音波診断装置、胃内視鏡診断装置を導入し、肝疾患、胃腸疾患などの早期発見・治療にも力を入れています。肝炎ウイルス治療や肝硬変の治療などにも対応させていただきます。

当院では個々の患者さんの身体状況・心理状況・生活状況によって「身体と心に寄り添った医療」を目指しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所在地：加古川市西神吉町鼎53-1
駐車場台数：15台

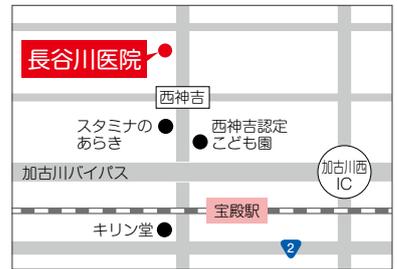
TEL.079-431-8151



院長 長谷川 昌美 先生



副院長 長谷川 徳子 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 17:00-19:00	○	—	○	—	○	—	—

*木曜日は11:00まで。
*発熱外来は原則11:00から。電話にて要事前相談。

みんなのクリニック明石

診療科：内科／糖尿病内科／整形外科／リハビリテーション科

この度、2021年4月、地域の皆様に応えられるよう名称新たに（旧「仁十クリニック」）アクセスしやすい国道2号線に面したスギ薬局魚住店内に移転することになりました。

地域のかかりつけ医として内科、糖尿内科、整形外科、リハビリテーション科の複数の診療科を備えたワンストップの診療所を目指します。近隣の当法人「明石仁十病院」とシームレスな連携をとり、質の高いサービスを提供してまいります。

日常生活に必要な医療介護を安全に提供するクリニックとして、診療時間の見直しを含め、利便性の改善を図ることで、今後も地域住民の方々の生活に貢献したいと思っております。

患者様御本人だけでなく、御家族の皆様、関係する方々の立場に立った丁寧な説明を心がけ、健康な生活を縁の下で支えていけるよう邁進してまいります。

スタッフが笑顔で働くクリニックを目指しますのでよろしくお願いいたします。



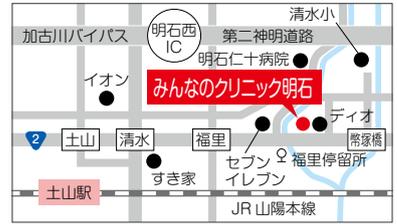
院長 三井 俊博 先生



副院長 伊賀 誠 先生



医師 岸上 真紀子 先生



所在地：明石市魚住町清水1620-1 スギ薬局横
駐車場台数：95台（施設共同利用の無料駐車場）

TEL.078-943-3450

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
内科	午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	—	—
	午後 15:30~17:00	○	○	—	—	○	—	—
糖尿病内科	午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	—	—
	午後 15:30~17:00	—	○	—	—	○	—	—
整形外科	午後 15:30~17:00	○	○	—	—	○	—	—
	夜間 17:30~19:00	○	○	—	—	○	—	—

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
リハビリテーション科	午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
	午後 15:30~17:00	○	○	—	—	○	—	—
	夜間 17:30~19:00	○	○	—	—	○	—	—

※リハビリはオールタイム理学療法士が担当します
休診日…水・木・土 午後診 夜診、日祝

2021年度セミナー等の開催について

加古川中央市民病院では、糖尿病教室、健康教室など地域の皆様へ情報発信の場を設けておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、各種セミナー及び研修会の開催を中止しております。

このような状況下でも、地域の皆様へ違った形式での情報発信を模索し、ニュースレターを発行することとなりました。

糖尿病教室は、5月より2ヶ月に1回「キラリ！糖尿病通信」を発行し、また健康教室は「プチ健康教室」というタイトルで、健康情報をお届けしています。

患者さんや地域住民の方々にわかりやすくお伝えし、各種疾病の予防、療養行動の一助及び治療効果の促進を目的としています。当院ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください!!



在宅医療研修会はオンラインで開催しています!

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での開催を中止とし、WEB（Zoomによるオンライン）で開催しています。第1回は6月17日（木）に、第2回は7月15日（木）に、第3回は8月20日（金）に開催しました。

それぞれの日程において、救急看護認定看護師 平石恵子による「救急看護（熱中症・脱水）」、また感染管理認定看護師 竹内久枝による「新型コロナウイルス感染対策」、皮膚・排泄ケア認定看護師 丸山澄美と橋本円による「褥瘡予防のちょっとしたコツ」をテーマにLiveによる講義を行いました。

参加者からは「事前に資料が配布され、それを見ながら講義が受けられたので、分かりやすかった。」「改めて観察の視点を確認できた。」「スケールをうまく利用して対応していきたい。」などの意見を頂いております。

これからも随時開催していきますので、多数のご参加をお待ちしております。

患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654

https://www.kakohp.jp/medical_person/

